

4. 文京区バリアフリー基本構想の骨子(案)

※各項目が「文京区バリアフリー基本構想」の目次と対応しています。

1. 策定の背景 ⇒第1回協議会 資料1・2をもとに作成

バリアフリー基本構想の冒頭で策定の背景を示します。

具体的には、法制度やオリンピック・パラリンピック等の**社会的背景**、人口や高齢者、障害者に関するデータ、公共交通の状況等の**区の概況**、これまでの**区のバリアフリーに関する取組**、**都や近隣自治体の取組**状況、アンケート結果などの**区民意識**、バリアフリー基本構想策定の**必要性**について記載します。

2. バリアフリー法について ⇒第1回協議会 資料1をもとに作成

バリアフリー基本構想の根拠となるバリアフリー法について、**法の概要**と、バリアフリー基本構想の中で**定めることになっている事項**について紹介します。

3. 文京区バリアフリー基本構想とは ⇒第1回協議会 資料3・4をもとに作成

バリアフリー法に基づいて策定される文京区バリアフリー基本構想について、区内の他の計画等との関係における**位置づけ**や、協議会等の組織の**体制**、ワークショップや地域懇談会などを実施した経緯を説明する**策定の流れ**、バリアフリー基本構想が目指す**目標年次やビジョン**を示します。

さらに、バリアフリー基本構想の**基本的な方針**(**区全体を重点整備地区としたバリアフリー基本構想**を策定し、その後、都市マスタープランの**地区別に具**体の検討を進めながら事業計画を作成していく)等を記載します。



4. 重点整備地区の設定 ⇒第2回協議会 資料2 (重点整備地区及び生活関連施設・生活関連経路(案))をもとに作成

バリアフリー法で定めることとなっている**重点整備地区**、**生活関連施設**、**生活関連経路**について、**設定の考え方**と実際に設定する**施設・経路**を示します。

また、設定した施設・経路と重点整備地区全体がわかる**地図**を掲載します。

5. 移動等円滑化に関する事項 ⇒第2回協議会 資料3 (移動等円滑化に関する事項(案))をもとに作成

バリアフリー法で定めることとなっている**移動等円滑化に関する事項**として、バリアフリー**基準**や**ガイドライン**の記載事項に加え、**ワークショップや地域懇談会での意見**を踏まえ、バリアフリー推進にあたり**配慮すべき事項**を整理します。

項目は特定事業の種類別とし、**公共交通**特定事業・**道路**特定事業・**交通安全**特定事業(信号機など)・**建築物**特定事業(駐車場含む)、**都市公園**特定事業の内容について記載します。

6. 心のバリアフリー等のソフト施策 ⇒区民アンケート調査やまち歩きワークショップの結果等をもとに作成

その他の事項として、特定事業にはあたらないうが区全域で取り組んでいくべき**ソフト施策**や、**心のバリアフリーの取組**の展開・推進に関する内容等を記載します。

7. 地区別方針 ⇒地域懇談会の実施結果や関係者との調整を踏まえ作成

都市マスタープランで定めている**5地区別**に、今後**地区別計画を策定することを想定したバリアフリー化の方針**を示します。

具体的には、地区の**概況や特徴**、地域懇談会での意見を踏まえたバリアフリー上の**主な課題**、地区のバリアフリー化の**基本的な方針と概念図**などを示し、今後具体的に検討を進めていく必要があるバリアフリー事業と将来イメージをあきらかにします。

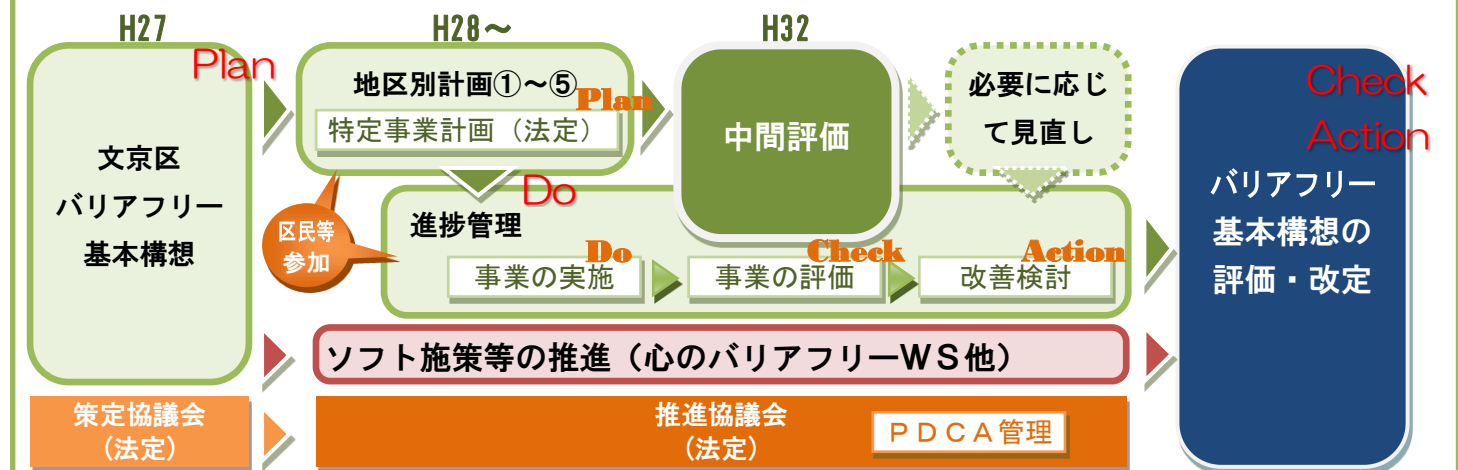
また、今後地区別計画を策定するにあたっての**策定順**についても考え方を示します。

8. バリアフリー基本構想の実現に向けて

バリアフリー基本構想策定後に、確実に地区別の計画が作成され、具体の事業が進められるように、**今後の進め方**について記載します。

具体的には、**地区別計画**(法に定められた特定事業計画として作成)の作成の進め方、その後の事業の**進捗管理**の方法、事業の**中間評価**や**スパイラルアップ(PDCA)**の方針、今後の社会情勢の**変化に応じた対応**のあり方について、6章で示した**ソフト施策や心のバリアフリーの取組などの継続的な展開**についてなどを記載します。

これらの取組を確実にを行うため、**協議会組織をバリアフリー基本構想策定後も継続**することを定め、地区別の**計画策定に区民の意見を反映**し、事業者と具体的な意見共有を図りながら取組を進めていくための枠組みを明確に示します。



参考資料

参考資料として、協議会等の設置要綱・名簿、ワークショップや地域懇談会などの実施概要と意見のまとめ、用語集などを記載します。

また、バリアフリー基本構想の概要をまとめた説明用の小冊子(A4版8ページ程度)を作成します。